

第46回（平成30年度）市政アンケート調査結果の概要

本市では、市が行うさまざまな施策に対する「満足度」「期待」や、日頃の生活と市政などへの市民の意識や意見を調査し、その結果を市政に反映させることを目的として、市政アンケートを毎年実施しています。

本年度も以下のとおり調査を実施し、このほど結果がまとまりましたので、内容をお知らせします。

1. 実施概要

実施期間	平成30年9月20日～10月15日
実施対象	18歳以上の市民から無作為に選んだ5,000人
調査項目	【問1】市政全般への満足度・期待について（全40項目） 【問2～4】次期総合計画の策定について 【問5～7】シティプロモーションについて 【問8～10】日ごろの生活と市政について 【問11～12】市の広報活動について 【問13～14】市議会について 【問15】自由回答欄

2. 調査結果（有効回答者数1,923人・有効回答率38.5%）

【満足度】全40項目の平均値は5段階評価中 3.00（前回は3.06）

◆満足度が高い施策

- 1位(ー)(前回1位) 適正なごみ処理の推進……………3.60(↓)(前回3.75)
- 2位(ー)(前回2位) 上下水道の整備……………3.40(↓)(前回3.47)
- 3位(ー)(前回3位) 消防・救急体制の充実……………3.38(↑)(前回3.37)
- 4位(↑)(前回5位) 検診・健康サービスの充実……………3.22(↓)(前回3.24)
- 5位(↑)(前回7位) 開かれた市政推進……………3.16(↓)(前回3.19)

◆満足度が低い施策

- 40位(↓)(前回24位) 市街地の土地の有効活用……………2.63(↓)(前回2.98)
- 39位(↓)(前回37位) 住環境の充実……………2.69(↓)(前回2.84)
- 38位(↓)(前回37位) 公共交通機関の利用のしやすさ……………2.70(↓)(前回2.84)
- 37位(↑)(前回40位) 道路と橋梁の維持管理……………2.74(↓)(前回2.83)
- 36位(↓)(前回29位) 雇用および就労の促進……………2.80(↓)(前回2.94)

【期待】「特に期待している」と回答した割合が高い施策は以下のとおり

- 1位(↑)(前回2位) 高齢者福祉の充実……………24.6%(↓)(前回28.5%)
- 2位(↓)(前回1位) 安心な医療体制の確保……………24.4%(↓)(前回29.4%)
- 3位(ー)(前回3位) 公共交通機関の利用のしやすさ……………22.0%(↓)(前回24.5%)
- 4位(↑)(前回7位) 安全・安心なまちづくりの推進……………18.5%(↓)(前回19.3%)
- 5位(↑)(前回6位) 災害に強いまちづくり……………18.3%(↓)(前回21.0%)

【市民から特に求められている施策】

満足度が低く期待が高い項目は、「市民から特に求められている施策」と捉えることができます。満足度が平均未満かつ期待が平均以上の項目を抽出しました。（順不同）

【前回調査（13項目）】

- 市街地の土地の有効活用
- 住環境の充実
- 中心市街地の活性化
- 公共交通機関の利用のしやすさ
- 道路の維持管理と長寿命化の推進
- 移動しやすい道路網の整備
- 交通安全対策の充実
- 災害に強いまちづくり
- 安全・安心なまちづくりの推進
- 高齢者福祉の充実
- バリアフリー化の推進
- 公園の整備・維持補修
- 学校での教育環境の充実

【本調査（16項目）】

- 市街地の土地の有効活用
- 住環境の充実
- 中心市街地の活性化
- 雇用および就労の促進
- 公共交通機関の利用のしやすさ
- 道路と橋梁の維持管理
- 移動しやすい道路網の整備
- 災害に強いまちづくり
- 安全・安心なまちづくりの推進
- 高齢者福祉の充実
- 障害者福祉の充実
- バリアフリー化の推進
- 公園の整備・維持補修
- 安心な医療体制の確保
- 学校での教育環境の充実
- 健全な財政の維持

【満足度・期待に関する特記事項】

- ・ 満足度について、昨年度と比較すると全 40 項目の平均値は 3.06 から 3.00 に低下し、ほとんどの項目で満足度が低下した（上がったのは 40 項目中 3 項目のみ）。
- ・ 満足度が最も上昇したのは「親しまれる港づくり」（3.09→3.15）であり、一方、満足度が最も低下したのは「市街地の土地の有効活用」（2.98→2.63）であった。
- ・ 年齢層による満足度の差が大きい項目は、「子育て支援の充実」（最大 3.75、最小 2.89、差 0.86）、「安心な医療体制の確保」（最大 3.56、最小 2.86、差 0.70）、「道路と橋梁の維持管理」（最大 3.21、最小 2.61、差 0.60）などとなっており、いずれの項目も若年層で満足度が高くなっている。
- ・ 「雇用および就労の促進」に対する期待が最も大きく上昇した（10.3%→13.0%）。
- ・ 年齢層による期待の差が大きい項目は、「子育て支援の充実」（最大 39.4%（30 歳代）、最小 8.1%（70 歳以上）、差 31.3）、「安心な医療体制の確保」（最大 27.2%（50 歳代）、最小 4.2%（20 歳未満）、差 23.0）、「高齢者福祉の充実」（最大 28.6%（60 歳代）、最小 8.3%（20 歳未満）、差 20.3）などとなっている。

【一問一答設問における特記事項】

- ・ 四日市市が住みよいまちとなるため、特に力を入れて取り組むべきこととして、最も多く挙げられたのは、【街作り・環境・防災・防犯・港湾分野】では「都市インフラ（道路、河川、公園、水道など）」（58.0%）、【産業・観光・市民活動・文化・スポーツ分野】では「中心市街地活性化」（50.7%）、【子育て、保健、福祉、人権、教育、国際交流分野】では「高齢者福祉、介護」（63.6%）となっている。
- ・ 四日市市を訪れる人（友人・知人・親戚など）を是非案内したいところとして、「コンビナートの夜景」（31.6%）、「「とんてき」など地元グルメが食べられるお店」（30.9%）の2つが特に多く挙げられている。
- ・ 市民の意見が市政に「反映している」および「ある程度反映している」と答えた人の割合は、昨年度から低下している（24.9%→24.1%）。
- ・ 市職員の仕事ぶり等について「信頼できる」および「ある程度信頼できる」と答えた人の割合は、昨年度から低下している（59.0%→58.5%）。
- ・ 「四日市市居住に対する総合的な満足度」については、前年度とほぼ同じであった（5段階評価で3.36→3.37）。